

令和4年度補正予算案を可決

令和4年第1回定例会6月議会が、5月27日から6月21日までの26日間の日程で開催されました。

新型コロナウイルス感染症への対応やコロナ禍における原油価格、物価高騰対策、公共事業などの令和4年度6月補正予算案が執行部より提案され、一般質問では8人の議員が登壇し、質疑応答が交わされました。

本会議での採決の結果、予算案など23件(予算案2件、条例案7件、その他12件、意見書案2件)が原案どおり可決され、人事案1件が同意されました。

あきた 県議会 だより

令和4年7月

No.180

全戸配布広報紙
年4回発行

第1回定例会
6月議会

主 な 内 容

- ②～⑤ 一般質問
- ⑥～⑧ 委員会審査から
- ⑧～⑨ 常任委員会の県内調査
- ⑩ 若者との意見交換会
- ⑪ 議会レポート、議案等の表決状況
- ⑫ 「県議会への意見」募集について

大曲の花火(大仙市大曲)

3年ぶりの開催となる「全国花火競技大会」。
8月下旬に大曲から希望と元気を花火で届ける。





きたばやし たけまさ
北林文正 議員

(自由民主党・北秋田市北秋田郡)



新秋田元気創造プランの選択・集中プロジェクトについて

－日常生活での温室効果ガス排出削減について－

問 県民総参加でカーボンニュートラルを達成するためには、生活に密着した関心の高い分野で、温室効果ガス排出の削減効果が大きい具体的取組を進めていく必要があるのではないかと。

答 (知事) 食品ロスの削減等によるCO₂の発生抑制対策のほか、住宅の省エネ診断やDIYでできる断熱改修を推進していく。

また、電気自動車等の普及に不可欠な充電設備の購入助成のほか、県有施設への設置の検討を進めていく。

2050年カーボンニュートラルの実現には、「ストップ・ザ・温暖化あきた県民会議」等で取組の進捗状況を共有しながら、1人1人の行動変容につながる県民運動を積極的に展開していく。



大館能代空港

大館能代空港の羽田便3往復化について

－北東北三県の玄関口としての利用促進について－

問 北東北三県の玄関口として広域的な活用を図り、3往復化を定着させるためには、空港の地理的特性を生かした新規の需要開拓などが必要である。コロナ後を見据え、大館能代空港の利用促進をどのように進めていくのか。

答 (知事) 秋田犬のお出迎えなどによる認知度アップ、高速道路延伸によるアクセス性の向上、無料駐車場の積極的なアピールなどにより、広域利用を一層促進していく。

世界遺産等の魅力を効果的に発信し、増便による利便性向上を追い風に積極的な誘客プロモーションを展開していく。

県北地域では大型企業誘致も進行しており、ビジネス需要の掘り起こしなど、あらゆる機会を活用し、空港の利用拡大を図っていく。引き続き、地元と協力し、総力を挙げて取り組んでいく。

その他の質問事項：
ロシアによるウクライナ侵攻に関する知事の政治姿勢について、エネルギーと食料の安全保障について



たかはし たけひろ
高橋武浩 議員

(自由民主党・能代市山本郡)



教育現場でのスマート農業について

問 スマート農業を現場に定着させるためには、教育段階からスマート農業を進める必要がある。県内の農業高校では、どのような教育を進めているのか。

また、高校で使用している農業機械の老朽化についてどう考えているか。

答 (教育長) 農業系の高校6校では、農業用センサーとドローンを活用した、ほ場環境分析や生育診断に加え、JAや民間企業と連携したドローンでの農薬散布、GPS搭載の自動運転機械による種まきなど、ICT※を活用した実践的・体験的な学習を進めている。

農業機械の老朽化については、生徒の安全確保を第一に、点検整備を徹底しながら計画的な更新を図る。また、農機メーカーからの協力を得て、最新の農業機械を用いた実習機会を設けたい。

その他の質問事項：
大館能代空港羽田便の3往復運航について、白神山地世界遺産登録30周年について、県職員の兼業について など

※ ICT…
情報通信技術



岩館漁港でのサーモン養殖試験の様子

水産版メガ団地構想と漁業振興について

問 岩館漁港内でのサーモン養殖試験で安定生産が可能であるとの実証結果を踏まえ、今後どのように養殖を振興していくのか。

また、秋田杉の間伐材を利用した魚礁の設置を検討できないか。

答 (知事) 岩館漁港での静穏域を拡大するための防波堤の延伸については、来年度の国事業の採択に向けた調査を行っており、令和5年度に実施設計、6年度に着工を目指している。着工後は延伸に伴い養殖事業の拡大を支援していく。また、加工品の開発など特産化に向けた取組を、八峰町と連携してサポートしていく。

(農林水産部長) 本県の魚礁は、波浪の影響が大きく、水深30m以上の場所に設置されている。そのため間伐材を主とした魚礁の設置は難しいが、鋼鉄製等の魚礁に間伐材を取り付けることで、水産資源の増える効果が期待できる。試験的な設置に向けて漁業関係者と協議していく。

みうらえいいち
三浦英一 議員
(みらい・由利本荘市)



知事の政治姿勢について －賃金水準の向上について－

問 県内企業には賃上げに二の足を踏む経営者が少なくない。ロシアのウクライナ侵攻による原材料や燃料の高騰と新型コロナの長期化により、流通業界を筆頭に県内企業の経営は一段と厳しさを増している。県民が期待する賃金水準の向上に向け、小規模な企業もカバーした、きめ細やかな支援が必要ではないか。

答 (知事) 賃金水準には企業規模との相関性があることから、M&A※1による経営規模の拡大や、新エネルギー関連などの成長分野への参入支援などを行っていく。特に小規模事業者においては、事業承継の状況や地域で必要な存在であることも加味しながら、共同仕入れなどの協業化や経営統合など、規模拡大への支援に重点を置いていく必要があると考えている。

農業問題について －水田活用の直接支払交付金の見直しについて－

問 直接支払交付金の見直しについて、知事が5月の省庁訪問で、地域農業への影響調査や現場の混乱を招かないよう国に慎重な対応を要望した際の反応はどうだったのか。また、農家経営への悪影響を最小限とするための県の今後の対応方針を聞きたい。

答 (知事) 農林水産大臣に現場の混乱や耕作放棄地の増加を招かないように申し入れたが、現時点では国の基本的な方針は変わらないように感じた。

今後は、国の調査に加え、県農業再生協議会で予定している作付動向等調査の結果を踏まえ、ブロックローテーション※2や畑地化する上で、技術的に対応できるものと、国へ要望していくものを整理していく。

転作の枠組みを超えて、自給率向上に向けた政策のあり方を総合的に検討する時期に来ていると考えており、農家が希望を持てる農政となるよう、国に強く要望していく。

その他の質問事項：
脱炭素社会の構築について



※1 M&A…
企業の合併・買収

※2 ブロックローテーション…
ほ場をいくつかのブロック(区画)に分けて、毎年、転作を実施するブロックを変えていく方式



ブロックローテーションしたほ場での大豆収穫の様子

いまかわゆうさく
今川雄策 議員
(自由民主党・秋田市)



国への提案・要望について

問 県では、春と秋の年2回、国への提案・要望活動を実施しているが、成果は上がっているか。今後、どのように取り組んでいくのか。

答 (知事) 国への提案・要望の実施に当たっては、本県関係の国会議員から大変なお力添えをいただいている。直接、国務大臣等を訪問して説明できることが、全体として功を奏している。こうした取組を通じて、高速道路ネットワーク、園芸メガ団地の整備、「あきた芸術劇場ミルハス」の完成、自然災害の復旧など多くの成果があったと考えている。

今後も、予算編成過程の重要な局面や、国務大臣などが来県する際に、各分野の喫緊の課題や中長期的に取り組むべき事項について、国への提案・要望を積極的に行っていく。

県有体育施設の有効利活用について

問 「第4期秋田県スポーツ推進計画」では、県民のスポーツ活動の基盤を整備することが目標として掲げられている。県立体育館の改修工事の見通しなど、今後の県有体育施設の有効利活用についてどう考えているか。

答 (観光文化スポーツ部長) 県立体育館は、天井改修工事が来年1月末に完工し、2月後半から利用を再開する見込みである。

また、今年度は総合プールなど5施設の換気・空調設備の改修を予定しており、感染症対策の強化による施設利用者の安全確保に取り組んでいく。

県有体育施設は、全ての県民が生涯にわたりスポーツに親しむための基盤である。施設設備の不具合による突発的な休館等で県民のスポーツ活動に支障が生じないように、計画的な改修を行い、各施設が長期間にわたり有効に利活用されるよう努めていく。

その他の質問事項：
県と市町村の協働・連携のあり方について、道路ネットワークの整備について



県立体育館の改修工事の様子



よしかた せいげん
吉方清彦 議員
(みらい・能代市山本郡)



新型コロナウイルス感染症の「後遺症」について

－罹患後症状への対応について－

問 秋田県においても、新型コロナウイルス感染症の後遺症に悩む県民が相談できる医療機関を紹介したり、治療法を含めた様々な情報交換ができる体制を作ることが急務である。知事の考えを聞きたい。

答 (知事) 現在、県内医療機関へのアンケート調査を実施している。その結果を踏まえ、医療体制の構築に向けた協議を行いたい。また、県ウェブサイトを受診の目安や受診できる医療機関の案内を掲載し、周知を図っていく。

県では、県医師会や秋田大学医学部などの専門家で構成する協議会を活用して、罹患後症状を含め、医療体制などについて情報交換を密にしながら、県民が安心して適切な医療を受けられるよう取り組んでいく。



羽後中学校給食センター

県内高等学校への給食提供について

問 授業料を含め、高校までは地域で支えるという考え方が普通になってきている。子育て体制の充実や男女共同参画社会の基盤づくりの観点から、県内高等学校への給食提供について知事はどう考えるか。また、生徒・保護者の需要の観点から教育長の考えはどうか。

答 (知事) 毎日の弁当づくりは、依然として母親の負担が大きい。女性の活躍推進や、仕事と家事・育児との両立ができる環境づくり、家庭における男女共同参画の意識啓発にも、引き続き取り組んでいく。高校への給食提供については、地域の実情に応じて、市町村や保護者等の意向を確認しながら判断する必要があると考えている。

(教育長) 県立高校での給食提供については、衛生管理や人員の確保等、クリアすべき課題がある。健康な食生活習慣を自立的に身に付けていく発達段階にある高校生にとって、一律の給食提供はなじまないと考えている。

その他の質問事項：
歯科保健対策について、フードバンクへの支援について、地域活性化とまちづくりに向けた起業等への支援について など



しまだ かおる
島田 薫 議員
(自由民主党・秋田市)



新型コロナウイルス感染症流行後の健(検)診体制について

問 令和2年度に実施した、集中的な受診勧奨キャンペーンや県のウェブサイトへの健(検)診受診に関するポータルサイトの新設は受診率向上に効果があったか。

また、新型コロナウイルス感染症流行後の健(検)診体制について聞きたい。

答 (健康福祉部長) 定期的な健(検)診の重要性について集中的なPRを行ったことにより昨年度の受診者数は概ねコロナ禍以前の水準まで回復している。

今年度は、新たなテレビCMの放映や「健(検)診受診の促進」を重点的テーマに掲げた健康づくり県民運動を推進する。

今後は、近隣市町村で受診が可能な広域的な体制づくりなど、県民誰もが受診しやすい体制の整備に取り組んでいく。



健・検診の受診勧奨ロゴ

地域医療構想について

問 感染症対策・回復期機能・地域連携の観点を含めて、どのように地域医療構想の実現に取り組んでいくのか。

答 (知事) 今後、リハビリテーション機能や在宅医療などは、充実すべき医療機能である。

交通ネットワークや搬送体制の整備の状況も勘案し、医療機能の分化と連携などを一層進め、医療提供体制を持続可能なものにする必要がある。

新興感染症については、医療機関であらかじめ感染拡大時の役割分担について取り決めておくことが必要である。これまでの対応の検証を行いながら、次期医療計画の策定に向けた協議を今年度から始めていく。

地域医療構想の意義や必要性を情報発信していくとともに、どこに住んでいても質の高い医療を受けられる体制整備について、幅広く議論していく。

その他の質問事項：
秋田感染症コアセンターについて、コロナ禍が影響するメンタルヘルスの問題について、新型コロナウイルス感染症の後遺症について など

鈴木 健太 議員
(自由民主党・秋田市)



国民保護について

－危機管理計画等の再検討と改訂について－

問 ハイブリッド戦争※1と言われる脅威に対して、国民保護計画と秋田県危機管理計画などでは対処できないのではないか。様々な脅威に対する対処計画の再検討と改訂が必要ではないか。

答 (知事) 秋田県危機管理計画は、被害・損失を最小限にとどめるための県の体制と基本方針を定めたものであり、具体的な対応については個々の危機の態様に応じて個別マニュアルを策定している。県に対するサイバー攻撃等への対策としては、これまでにセキュリティクラウド※2やファイアウォール※3などの機器等の設置を行っている。

一方、ハイブリッド戦争では、エネルギー供給や交通の途絶などが全国的かつ複合的に生じ、影響は社会経済全般に及ぶため、それらへの備えも重要である。しかし、ハイブリッド戦争のような安全保障に関わる事態への対応は、国レベルで検討の上、

地方公共団体等に示すべきと考えており、国に取組を働き掛けていく。

キッチンカー※4による移動学食について

問 高校の学食は少子化の影響から減少の一途をたどっている。生徒の満足度向上、家族の負担解消、飲食事業者への支援と一石三鳥のアイデアだと思う。キッチンカーを高校の学食に活用できないか。

答 (教育長) 県立高校の学食は、生徒数の減少に加え、昼休み時間が限られていることや、夏休み期間等があることから、採算が見込めず事業者が撤退し、実施校が少なくなってきた。

生徒に温かい食事を提供できるキッチンカーによる昼食の提供は、保護者の負担軽減にもなるので、生徒・保護者の意向等を踏まえながら、試験的な販売を行うなど、各高校において、事業者と実施の可能性について協議していく。

その他の質問事項：
憲法改正について、中小企業支援について、後見制度の普及と支援について、多目的スタジアムの建設について



※1 ハイブリッド戦争…
軍力に加え、サイバー攻撃など軍
事力以外の力を使う戦争

※2 セキュリティクラウド…
充実したセキュリティ対策により高い
安全性があるウェブ上のサービス

※3 ファイアウォール…
企業などの内部ネットワークとイン
ターネットの間に設置される安全確
保を目的としたシステム

※4 キッチンカー…
台所設備付き自動車



キッチンカー

瓜生 望 議員
(自由民主党・潟上市)



地域公共交通の確保について

－ラストワンマイル※の課題解消に向けた取組の方向性について－

問 市町村における自動運転実証実験の検証に対する評価と、それを踏まえた今後のラストワンマイルの課題解消に向けた県の取組の方向性について考えを聞きたい。

答 (知事) 区域内を自由に運行し、ドア・ツー・ドアのサービスが提供できる乗合タクシーの運行費についても支援の対象とする方向で市町村と協議をしている。

上小阿仁村や仙北市における自動運転実証実験の状況や、国・企業・研究機関等の動向を引き続き注視する。将来的に完全自動走行が実用化される段階になれば、時機を逸することなく導入できるよう、知見の共有を図っていく。

アリーナの必要性について

－具体的なスケジュールの見通しについて－

問 県立体育館の進むべき方向性を明確にするとともに、まずは基本構想を今年度中には完成させ、その後の計画や設計においても事業を並行して進めていかなければならない。今後の具体的なスケジュールの見通しについて聞きたい。

答 (観光文化スポーツ部長) 令和11年度後半と想定してきた新体育館の開館時期については、半年程度前倒しする方向で現在検討を進めている。

Bリーグが示す令和10年秋までに、アリーナ基準を満たす新体育館が完成するよう努めるとともに、整備の見通しについてチームを通じてリーグ側にしっかりと示していく。地域のプロチームが早期に新たなトップリーグに加入できるようバックアップしていく。

その他の質問事項：
人口減少下における地域や生活圏の在り方等について、高等学校の適正配置について、社会的処方取組について



※ ラストワンマイル…
最寄り駅やバス停などと自宅等の
目的地を結ぶ移動のこと。



仙北市での自動運転実証実験の様子

総務企画委員会

Q 県職員採用試験の応募者数が過去10年で最低となっている。人材確保に向けて今後どのように対応していくのか。

A 民間の調査によると、地方公務員の志望割合がやや増加している一方で、公務員の仕事内容に関する情報が少ないと感じている学生が多いようである。職種ごとの仕事内容が分かりやすい動画で情報発信するなど、オンラインも効果的に活用しながら、公務員の魅力を幅広く発信して、受験者の掘り起こしを図っていききたい。



県職員の仕事ガイダンスの様子

予算特別委員会総務企画分科会

Q 「マイナンバーカード普及事業」について、テレビCMやSNS等を活用し広報を集中的に実施している。その手法でメリットを十分に伝えられるのか。市町村との連携強化も必要ではないか。

A マイナンバーカードを普及させるためには、高校生など若者の取得率向上のための取組や、申請方法が分からない高齢者への丁寧な説明が必要である。各種媒体を活用し、幅広い層に分かりやすく情報を伝えていきたい。

市町村との連携については、全市町村が参加する全県連絡会議で、各自治体の実施している優良事例の情報を共有している。さらに、市町村に対して県主催のイベント開催時の申請窓口設置について働き掛けており、今後もこのような取組を継続していきたい。

福祉環境委員会

予算特別委員会福祉環境分科会

Q 国や医療機関との新型コロナウイルス感染者に関する情報共有や、自宅療養者への連絡等により、保健所の業務が逼迫していると聞いている。改善するために、今後、どのように体制を整備するのか。

A 陽性者の増加に伴う業務の逼迫に対応するため、これまで健康福祉部中心に行ってきた感染症対策業務を、他部局の協力を得る体制へと強化し、県調整本部を保健医療対策部に改組した。この保健医療対策部では、保健所の負担軽減を検討しており、業務委託なども順次進めている。

Q 「八郎湖地域連携推進事業」について、どのような団体がどんな取組を行うことを想定しているのか。八郎湖の水質保全について、これまで様々な対策を講じてきたが、大幅な水質改善には至っていない。継続性のある取組を支援したどうか。

A これまで八郎湖の水質保全に取り組んだ実績のある団体を想定しており、各団体には自由に取組内容を提案してもらいたいと考えている。取組の継続性や将来性は非常に重要な視点であることから、選定における審査基準とし、将来的に水質改善を展望できる取組を支援していく。



八郎湖岸での住民との協働活動の様子

農林水産委員会

予算特別委員会農林水産分科会

Q 「畜産経営維持緊急支援事業」について、増大している飼料費の負担を軽減する直接的な支援ではなく、素畜（肥育素牛や素雛など）の導入や品質向上の取組を支援することにしたのはどのような意図からか。

A 畜種毎の実情を踏まえて対策を講じるものであり、養豚や養鶏、肉用牛肥育経営においては、飼料費の増大により資金の流れが悪化する中、経営規模が縮小しないよう、素畜の導入を支援していく。また、肉用牛繁殖経営及び酪農経営においては、発育の良い子牛の



肥育素牛の出荷の様子

生産や生乳の品質向上に向けた取組を支援することで、収入の維持・向上を図りたい。

Q 「土壌診断推進事業」について、簡易土壌分析装置の導入などを通じて、肥料価格の高騰にどのように対応していくのか。

A 土壌診断結果を基に施肥量低減マニュアルを作成し、適正施肥によるコスト削減を普及・指導していく。また、施肥の適正化に加え、農地の集積・集約化やスマート農業による効率化などを促進し、経営全体で肥料高騰分のコストを吸収できるよう支援していきたい。

産業観光委員会

Q 洋上風力発電の導入により、雇用の増加や賃金水準の向上等の経済効果が見込まれるのか。また、県民は経済効果に大きな期待を寄せているので、県民が理解しやすいデータを公表していくべきではないか。

A 部品製造、建設工事、運転・保守など関連産業における生産増加が雇用の創出につながり、賃金の上昇に反映されていく面もある。洋上風力発電の導入を進めるに当たり、県民が理解しやすいように工夫をしながら、経済効果や波及効果に関する情報を提供していきたい。

予算特別委員会産業観光分科会

Q 「観光施設魅力向上事業」について、県営秋の宮山荘の指定管理者の再公募に当たり、3千万円超の指定管理料・広告宣伝費が計上されている。コロナ禍でこの宿泊施設も厳しい状況にある中、一つの宿泊施設に対して多額の予算を投じる理由は何か。

A 秋の宮山荘は、県南地域における観光振興の拠点であり、宮城県方面からの誘客に重要な役割を果たしている。早期に再開させたい。コロナ禍により先行きが見通しにくい状況に加えて、休業期間が4か月に及ぶため、指定管理者の負担を軽減して、安定的な経営につなげるために、指定管理料を支出するとともに、集中的に広告宣伝を行う。



秋の宮山荘

建設委員会

予算特別委員会建設分科会

Q 「建設DX加速化事業」について、建設現場の生産性等の向上のため、建設ICT機器等の導入に取り組む企業への支援を拡充するとしている。追加募集する際は、ある程度余裕をもった募集期間を設定するべきではないか。また、情報発信などにより、取組を県内に広げるべきではないか。

A 今年度から新たに実施した事業であり、追加募集の際には、より長い募集期間を設定したい。また、ICT工事のメリットをアピールする場を設け、取組を県内に広げていきたい。

Q 洋上風力発電の基地港湾である秋田港と能代港、基地港湾の能力不足を補う補完港である船川港について、洋上風力発電の建設やメンテナンスにおける役割分担はどうなっているのか。

A 基地港湾の面積が狭いので、発電施設の基礎部分と風車部分を順次施工していた。補完港を活用することにより、風車部材を基地港湾で、基礎部材を補完港で扱うなど作業の同時進行が可能となり、工期の短縮につながる。また、本荘港については由利本荘市沖で計画されている洋上風力発電建設基地のメンテナンスの拠点として活用していきたい。



秋田港

教育公安委員会

Q 運動部活動の地域移行に関する検討会議の提言では、公立中学校の休日の運動部活動を、段階的に地域に移行する方向性が示された。県として、どのように進めていくのか。

A 地域移行の主体となるのは市町村であり、教育委員会や学校のほか、スポーツ協会、各競技団体、地域のスポーツクラブなど、関係団体の協力も必要となる。これを踏まえ、県として検討会議を開催し、関係者の役割を明確化した上で情報共有から始めていく。また、様々な課題が考えられるため、生徒、保護者の意向や県内の実情を踏まえ、慎重に検討を進めていく。



地域部活動事業（能代南中）の様子

予算特別委員会教育公安分科会

Q 小・中学校における新型コロナウイルス感染症発生時の検査体制については、これまで、市町村によって差があったようだが、「小・中学校等新型コロナウイルス感染症対策関連事業」により、全ての小・中学校での検査体制が整うのか。

A 本事業は、県が一定数の検査キットを全県一斉に配布することで、市町村間で差のあった、感染症発生時における検査対応の平準化を図るものである。併せて、本事業をきっかけに、継続して検査体制の強化を図ろう、市町村に働き掛けている。

予算特別委員会

Q ロシアによるウクライナ侵攻など世界情勢が変化している中で、農業資材等の価格高騰が大きな問題となっている。農家からは、肥料や飼料などの価格高騰が経営を圧迫しており、支援を求める声が寄せられている。このような中、価格高騰への対策を、今後どのように進めていくのか。

A 農業資材等の価格高騰に対しては、収入の維持と経費の抑制の両面からのアプローチが重要であり、経営全体でコストを吸収できるよう、経営規模の拡大やスマート農業による省力化・精密化を推進していく。

また、国が示した「骨太の方針」に肥料価格急騰対策の構築が明記され、新たな補助制度の創設が期待されるので、その動きを注視しつつ、引き続き、国へ必要な支援を要望していきたい。

右側の二次元コードから総括審査の様子をご覧ください。



Q あきた芸術劇場ミルハスについて、周辺地域のにぎわい創出の中核となることが期待されている中で、県民に親しまれ、多くの方に来てもらうには、指定管理者や運営協議会の役割が重要と考える。事業展開や運営に関する協議は、どうなっているのか。

A 県内事業者3社による事業体が指定管理者として運営しており、すでに1年半くらい後まで人気のあるコンサート等が予定されている。その後も、指定管理者が中心となり、県や市も協力しながら、県民の方々に、すばらしい芸術文化公演を提供していきたいと考えている。

また、運営管理の重要な事項については、地方自治法に基づき、県と市で設置した運営管理協議会において協議されている。より具体的な事項については、指定管理者と行政が考えを1つにしていける必要があるため、県、市、指定管理者で連絡調整会議を作り、よりよい施設にしていけるための議論をしている。



委員会審査の参考にするため、各常任委員会では県内外の先進事例の視察や調査を行っています。本年5月に行われた総務企画、教育公安及び農林水産委員会の県内調査の模様をお知らせします。

総務企画委員会県内調査

令和4年5月17日(火)から18日(水)に次の視察先を訪れました。

- ① TiG misato(ジェラート店、若者チャレンジ応援事業関係)
- ② タザワコサウナ(若者チャレンジ応援事業関係)
- ③ 一般社団法人わらび座
- ④ 株式会社ウッディさんない
- ⑤ Bizサポートよこて
- ⑥ 増田まんが美術館

若者チャレンジ応援事業(※次代を担う若者の夢の実現に向けたチャレンジを支援する事業。令和元年度から3年度までに延べ123件の応募の中から19件を採択。)に採択され、ジェラート店を営む、内田 清文氏にお話を聞きました。

Q どうして、事業としてジェラートを選んだのか(委員)。

A ジェラートはアイスの中でも一番品質が高いといわれており、事業として選択した。また、知人の農家から、せっかく作っても商品化が難しく廃棄している食材があると聞いた。秋田県は製造加工が弱いので、食材が新鮮なうちに加工・販売しようと思った(内田氏)。



事業説明を受けている様子

Q 補助事業についての感想を聞きたい(委員)。

A 書類の作成は、それほど面倒ではなかった。県の相談サポートを受けることができたため、しっかりと事業を進めることができた。この補助事業は、余り知られていないので、もっとPRした方がよいと思う。



「TiG misato」店内の商品



「タザワコサウナ」テントの様子



「わらび座」テレワーク＆ワーケーションの拠点施設



「ウッディさんない」開発の災害に備える木製ブロック塀



「Bizサポートよこて」起業支援施設



「増田まんが美術館」デジタルアーカイブ

教育公安委員会県内調査

令和4年5月23日(月)から24日(火)に次の視察先を訪れました。

- ① 伊勢堂岱遺跡
- ② 大湯環状列石
- ③ 花輪高等学校
- ④ 大館桂桜高等学校
- ⑤ 北秋田警察署

大館桂高校、大館工業高校、大館高校の3校が統合し、開校7年目を迎えた大館桂桜高等学校の今川校長にお話を聞きました。

Q カリキュラムの「桂桜力」(習得力、思考力、行動力、発信力)の一つである発信力は、生き抜くために必要となる大切な力であり、その育成に向けてどのような取組をしているのか(委員)。

A 昨年度導入した1人1台タブレットを活用し、色々な形で発信を目指しているところである。



「大館桂桜高等学校」授業の視察の様子

進学や就職の面接において、「桂桜力」のキーワードを用いながら、自身の3年間の学校生活を説明できれば、発信力の育成の成果になると考えており、指導に力を入れている。

Q コロナ禍で地元志向が強まっている中、本校への進学者を増やすために、どのように取り組んでいるか(委員)。

A ふるさとキャリア教育の一環として、地元の小・中学生と様々な交流を行っている。



「伊勢堂岱遺跡」視察の様子



「大湯環状列石」視察の様子



「花輪高等学校」統合に関する質疑の様子



「北秋田警察署」概況説明

農林水産委員会県内調査

令和4年5月25日(水)から26日(木)に次の視察先を訪れました。

- ① 林業研究研修センター
- ② 農業試験場
- ③ 株式会社秋田農販
- ④ 農事組合法人ニューファーム秋田
- ⑤ 株式会社たかはし農舎
- ⑥ 畜産試験場

令和4年2月に県内初となる農事組合法人同士の合併により誕生した、農事組合法人ニューファーム秋田の樽川代表理事にお話を聞きました。

Q 合併における一番の課題は何か(委員)。

A 地域の文化やコミュニティを守ることができ、地域が幸せになるか、そして、地域の農業を継承する若者が育っていく環境を作れるかどうかである(代表理事)。

Q 米に代わる主力作物を何にするかといった点についてアドバイスがほしい(委員)。

A 農業は業である以上、自分のことは自分で切り開いていき、その中で分からない点、足りない点を関係機関等に指導を仰ぐべきである。自分の頭でしっかり考えることのできる人が生き残っていく(代表理事)。

Q 栽培品目が多いが、どのように販売しているのか(委員)。

A 全て受注販売であり、直売はしていない。注文を受けるためには全国の生産者との戦いになるが、売れるものだけを作るという考えである。



「林業研究研修センター」ハーベスタシミュレータ操作の様子



「農業試験場」水稻の高温発熱性検定施設



「株式会社秋田農販」ゼロエミッション農業の技術実証



「農事組合法人ニューファーム秋田」美郷れんこんの栽培



「株式会社たかはし農舎」きゅうりのメガ団地



「畜産試験場」種雄牛舎

議会活動に関する若者との意見交換会を開催しました。

- 地方議会では、議会に対する住民の関心を高めることや、議会活動に関する情報発信の強化、議員のなり手不足の解消等が課題となっています。
- これらの課題解決に向け、令和4年3月から若者と県議会議員の意見交換会を行っています。意見交換会では3つのグループに分かれて活発に話し合いを行った後、その内容を発表し合い、全体で意見交換を行いました。
- 発表された内容は、グラフィック・レコーディング（会議の内容を絵や図で記録をとること）による整理が行われました。

第1回意見交換会

◆3月25日に「議会における情報発信のあり方について」をテーマに9名の若者と10名の県議会議員で意見交換が行われました。

◆この中で、広報紙については、「文字を見やすくしたり、写真を効果的に活用するなど、読者の興味を引くようにしてはどうか」といった意見や、「議会をより身近に感じられるように秋田県議会としてSNSを活用して情報発信をするべき」といった意見が出されました。



グループでの話し合いの様子



グラフィック・レコーディングによる取りまとめ



ファシリテーター（住谷 達 議員）による講評

第2回意見交換会

◆6月10日に「議員のなり手不足の解消について」をテーマに10名の若者と10名の県議会議員で意見交換が行われました。

◆この中で、「若者世代が議員を職業として選ぶためには、議員の魅力を分かりやすく伝えることが必要ではないか」といった意見や、「議員の得意、不得意な分野を伝えたり、自然体で輝く姿を見せていけばいいのではないか」といった意見がありました。



活発に話し合う議員と若者



若者からの発言の様子



全体討議の様子

■次回は、9月に第3回意見交換会を「住民の議会への関心を高めるためには」というテーマで開催し、今後の議会の取組に関する最終報告を取りまとめる予定です。

知事提出議案

■可決された主な議案

◎令和4年度秋田県一般会計補正予算（第2号・第3号）

- ・一般会計の補正額 145億9,814万円（増額）
- ・補正後の額 6,286億5,184万円
- ・前年度6月補正後予算との対比 233億470万円増（3.8%増）

・補正予算の主な事業

新型コロナウイルス感染症自宅療養者給付金事業
（オミクロン株による感染の拡大に伴う自宅療養者の増加を踏まえて、給付金の支給経費を増額）

ウクライナ避難民受入支援事業

（ウクライナ避難民に対し、当面安定した生活ができるよう生活費等を支援）

燃料価格高騰に係るトラック運送事業者への緊急支援事業
（燃料の価格高騰の影響を受けている県内トラック運送事業者の負担軽減を図る支援） など

◎秋田県監査委員の選任

嶋 貢氏（新任）について同意

◎秋田県県税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、上場株式等に係る配当所得等の課税方式の見直し及び個人県民税に係る住宅ローン減税の延長等を行うものとするもの。

意見書（件名のみ）

■可決された意見書

- ◆水田活用の直接支払交付金の見直しについて現場の実情を踏まえた対応を求める意見書
- ◆緊急事態に対応できる国づくりに向けた建設的な議論を求める意見書

議会からのお知らせ

テレビ広報について

毎定例会後1か月以内を目安に、今年度は秋田朝日放送でテレビ「県議会だより」を放送しています。詳しい日時は県議会ウェブサイト（<https://pref.akita.gsl-service.net/>）でご確認ください。また、過去の放送もこちらでご覧いただけます。



ライブ中継及び録画配信について

本会議及び予算特別委員会総括審査の様子は、県議会ウェブサイト（<https://pref.akita.gsl-service.net/>）において、ライブ中継及び録画配信を行っていますので、ぜひご視聴ください。

議会開催予定のご案内

令和4年第2回定例会（9月議会）

令和4年9月9日（金）～10月6日（木）

※現時点での予定であり、変更となる場合があります。変更内容は、随時、秋田県議会ウェブサイトでお知らせします。

秋田県議会永年在職議員表彰

5月27日に開催された本会議において、北林康司議員（自由民主党）が永年（35年）在職議員として、鶴田有司議員（自由民主党）が永年（25年）在職議員として表彰されました。



北林康司議員（写真右）



鶴田有司議員（写真右）

令和4年第1回定例会〈6月議会〉
表決状況

※下記以外の議案等については全会一致で可決されました。

※全議案についての表決状況は右の二次元コードからご覧いただけます。



議案等	件 名	議決月日	議決結果	賛成者数	反対者数	自 民																				みらい					立民		社民		共産	公明	人口減少	渡秋田																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
						高橋 豪	瓜生 望	宇佐見 康人	住谷 達	児玉 政明	小山 緑郎	鈴木 真実	佐々木 雄太	杉本 俊比古	鈴木 健太	佐藤 信喜	今川 雄策	高橋 武浩	北林 文正	竹下 博英	原 幸子	工藤 嘉範	近藤 健一郎	加藤 鉦一郎	佐藤 賢一郎	小松 隆明	柴田 正敏	川口 一	鶴田 有司	北林 康司	島井 修	吉方 清彦	佐藤 正一郎	三浦 茂人	東海林 洋	渡部 英治	三浦 英一	土谷 勝悦	薄井 司	小原 正晃	石田 寛	加藤 麻里	石川 ひとみ	加賀屋 千鶴子	松田 豊臣	小野 一彦	鈴木 洋一																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
知事提出	令和4年度秋田県一般会計補正予算(第2号)	6月21日	原案可決	42	41	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

新たにソーシャルメディアを始めました。

秋田県議会では、日々の県議会の取組や議会活動に関する情報等を多くの方々に発信するために、ソーシャルメディアを始めました。

右の二次元コードから、ご覧ください。



Facebook



Instagram



Twitter



YouTube

「県議会への意見」募集について

秋田県議会では、議案の審査や政策提言の参考にするため、次の9つのテーマについて県民の皆様からのご意見を募集します。

募集するテーマ

テーマ1 賃金水準の向上について

(内容) 賃金水準の向上については、新秋田元気創造プランにおいても特に注力すべきものとして掲げられている。賃金水準向上のためにどのような対策が必要なのか、ご意見をお知らせください。

テーマ2 労働者の確保について

(内容) 大手企業の県内進出に伴い、県内企業での労働者不足が発生している状況にあるとも言われている。労働者の確保についてどのように対応すべきか、ご意見をお知らせください。

テーマ3 水田活用の直接支払交付金の見直しについて

(内容) 見直しにより生産性の低下、排水対策、栽培管理など農家への影響が大きい。見直しについて、ご意見をお知らせください。

テーマ4 女性が暮らしやすく活躍できる社会の実現について

(内容) 女性の活躍できる社会の実現に向けて、地域の推進的役割を担う人材養成や女性活躍啓発イベントの開催などに取り組んでいる。これだけでなく、地域社会全体で取り組むことが求められているのではないかとご意見をお知らせください。



テーマ5 ふるさと教育の充実について

(内容) 「ふるさと教育」が進められている中で、郷土の理解を深める学習を教師に全て委ねるには限界がある。「ふるさと教育」の充実をいかに図るか、ご意見やアイデアをお知らせください。

テーマ6 学校給食の無償化について

(内容) 教育負担が増える中、保護者の間に給食の無償化の要望が聞かれる。給食無償化と高校への拡大について、ご意見をお知らせください。



テーマ7 新スタジアム及びアリーナ整備について

(内容) サッカースタジアム構想や県立体育館建て替えに伴うアリーナ構想など、県民の関心が高いプロスポーツの本拠地としての施設整備について、ご意見をお知らせください。

テーマ8 燃料費や物価の高騰に対する支援について

(内容) 燃料費や物価の高騰により影響を受けている県民や企業への支援について、支援の在り方や具体的な支援ニーズなどをお知らせください。

テーマ9 高齢化が進む中での災害対応の在り方について

(内容) 高齢者の割合が高くなる中で、防災・避難訓練が行われているが、高齢者など災害弱者が思いどおりに避難できないという切実な声を耳にする。

いざという事態に、県民の命、とりわけ高齢者等の命をいかに守るかについて、ご意見をお知らせください。

提出方法及び必要記載事項

1 提出方法

次の①～④のいずれかの方法により提出してください。決まった様式はありませんので、自由に記載してください。

①郵送

・宛先：〒010-8570 (住所省略)
秋田市山王四丁目1番1号 秋田県議会事務局 政務調査課
「県議会への意見」と明記してください。

②ファックス

・ファックス番号：018-860-2108 「県議会への意見」と明記してください。

③メール

・メールアドレス：kengikai@mail2.pref.akita.jp
・タイトル：「県議会への意見」としてください。

④秋田県議会ウェブサイト「県議会へのご意見」

・アドレス：https://pref.akita.gsl-service.net/

2 必要記載事項等

住所、氏名及び年代(10代、20代など)を必ず記載してください。

募集期間

令和4年7月8日(金) から8月15日(月) まで(当日消印有効)

その他

- ご意見の提出は、日本語を使用してください。
- 電話による受付や、ご意見に対する個別の回答はお断りいたします。
- いただいたご意見を、居住地や年代を示した上で広報紙やウェブサイトでご紹介する場合があります。(掲載例：秋田市・50代、湯沢市・70代)
- 広報紙への掲載に際しては、紙面の都合上、編集・省略する場合があります。
- いただいたご意見に第三者が著作権等の権利を有している著作物等(例：新聞紙面の写し、テレビ番組の画像、書籍、地図等)が含まれる場合、該当箇所のみ又は意見全体について掲載できないことがあります。
- いただいたご意見は、県議会への貴重な声として、プライバシーに配慮しながら全議員へ回覧します。